

《履修上の留意事項》面接授業と遠隔授業の併用実施

《担当者名》富家 直明

【概要】

将来のスクールカウンセラー等として、幼児児童生徒、保護者及び教職員に対する相談・援助などを行うことにより、不登校・いじめ、暴力行為、などの諸課題への未然防止、早期発見、事後対応、障害を持つ児童生徒への支援、心理検査、学校への助言、保護者との連携や支援等の必要な対応が行うことができることを目指す上で基本となる教育心理学を中心に講義を行う。

【学習目標】

〔重要到達目標〕

- 教育に関する心理学を理解する。
- 教育現場において生じる問題及び背景について説明できる。
- 教育現場における心理社会的課題及び必要な支援方法について説明できる。
- 自力で課題を発見し、自己学習によってそれを解決する力を身につけている。
- 社会の変化を捉えながら生涯学習を持続する意欲を持つ。

【学習内容】

回	テーマ	授業内容および学習課題	担当者
1	オリエンテーション 教育心理学とは	授業の進め方の概説 教育心理学の領域、目的、歴史を概観する	富家 直明
2	学習の行動論的アプローチ	パブロフの古典的条件づけ、ワトソンの行動主義、ソーンダイクの道具的条件づけ、スキナーのオペラント条件づけ、トールマンの認知行動論的アプローチ、バンデューラの観察学習	富家 直明
3	学習の認知論的アプローチ	ゲシュタルト心理学、ピアジェの認知理論、ヴィゴツキーの社会文化的発達理論	富家 直明
4	情報処理論的アプローチ	学習・記憶のモデル、長期記憶、エピソード記憶、意味記憶、スキーマ記憶、メタ記憶	富家 直明
5	個人差の心理学	パーソナリティ、測定方法	富家 直明
6	個人差の心理学	知能、知能検査	富家 直明
7	個人差の心理学	学力、創造性	富家 直明
8	動機づけ理論	動機づけ理論、達成動機、学習性無力感、目標理論、自己効力、自尊感情	富家 直明
9	学習過程	教授技法、有意味受容学習、発見学習、プログラム学習、適性処遇交互作用	富家 直明
10	共同学習	アクティブラーニング、授業設計 (中間試験による知識定着の見直しを含む)	富家 直明
11	発達と教育、乳幼児期の発達 健康教育	発達の過程、発達研究の方法、子どもの発見、乳児期と幼児期、禁煙教育プログラムの紹介	富家 直明
12	児童期の発達	就学前後、学童期の発達	富家 直明
13	青年期の発達	思春期、青年期、自我同一性	富家 直明
14	学校不適応への対応	不登校、いじめ、非行	富家 直明
15	心理社会的課題の解決に寄与する教育心理学の役割	教育現場における心理社会的課題の解決に寄与する教育心理学の知見に関する整理、学習態度の点検、生涯学習への動機づけ	富家 直明

【評価方法】

定期試験(100%)

【備考】

教科書：教育心理学エッセンス(ナカニシヤ出版)

参考書：誠信心理学辞典(誠信書房)

公認心理師を将来受験する意志を持っている方は特に購入をお勧めします

【学習の準備】

時々、小テストを行う(成績評価には含まない)。

1行ノートと呼ぶ学習帳の作成と提出を求める(レポート)。これは予習・復習の時間の目安としては1講義につき1時間程度である。

学習への意欲、取り組み状況、態度を自省するルーブリック評価を行う。

学外で行われる研修会等への参加体験を推奨し、成績評価の対象にする。

【ディプロマポリシーとの関連】

心の問題にかかわる職業人として必要な幅広い教養と専門的知識を修得する、というポリシーに適合している。

【実務経験】

公認心理師・スクールカウンセラー

【実務経験を活かした教育内容】

公認心理師としての臨床実務経験(スクールカウンセラー)を反映させた教育を行う